

2020年12月17日

保護者各位

1人1台コンピュータ配備に関わる利用料負担についてのお願い

チカラン日本人学校 事務長
丹羽 聡

日頃より学校運営にご理解とご協力を賜りありがとうございます。今般、文部科学省のGIGAスクール構想の一環としてまた、コロナ禍での学びを保障する目的でコンピュータを1人1台配備致しました。これらコンピュータにつきまして誠に恐縮ながら利用料を徴収させて頂きたく、下記背景など斟酌のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 背景

文部科学省にて推進されておりますGIGAスクール構想についてはお聞き及びのことと思います。文部科学省GIGAスクール構想は「クラウド活用」「高速大容量通信環境」「1人1台学習者用端末」の学校ICT基盤整備を中核として、新しい学習指導要領に基づき、公正に個別最適化され、未来社会を創造する力を育む「未来の学び」の環境整備を省庁横断的に支援するという構想です。(詳細は添付の文科省資料をご参照下さい。)

GIGAスクール構想の一環としてまた、コロナ禍における「学びの保障」を達成する施策として、本年8月に文科省から在外施設向けにコンピュータ整備支援事業の通達がございました。具体的には本事業を通じて各在外施設が1人1台のコンピュータ環境を整備し、オンライン授業等が支障なく実施できる環境を構築し、「子どもたちを誰一人取り残すことなく、最大限に学びを保障する」との案内によりリモート学習が可能である可動式コンピュータ(以降PC)の配備を支援するというものです。

2. 経緯

チカラン日本人学校としても文科省の8月の通達に従い、今年度の1人1台のコンピュータ配備を進めて参りました。今般PCの納入が完了しソフトウェアなどの初期設定が完了し学校内で利用を開始しております。

まさに1人1台の体制になり児童生徒が個々人のIDでPCを使う環境が整いました。これらPCは在籍期間中、マイPCとして継続して使用して頂きます。原則は校内利用とし同時に整備しました校内無線LANを経由してインターネットアクセスなどで調べ物学習などに利用したりデジタル教科書での学習に使用したりして参りますがコロナ禍のおり、リモ

ート学習でも活用する目的がございますので、自宅に持ち帰ってオンライン学習で活用することも計画しております。追って『コンピュータ活用のルール』を配布のうえ、利用開始する予定です。

3. PC 配布に関わるご負担のお願いについて

PC 配布に伴う経済的な負担については、教育委員会などが存在せず私立学校扱いの在外施設は受益者負担が原則となります。今年度は文科省からのコンピュータハードウェア購入金額の一部について補助がありますが、残りの費用については大変恐縮ながら保護者負担をお願いしたい次第であります。以下にご負担に関する詳細をご説明申し上げます。

① ご負担頂く費用算出の考え方

今回配布の PC に関わる費用の内、政府補助（1 台 22,500 円）を除く実費を PC のライフサイクルの期間で按分して月額でご負担頂きます。PC に関わる費用は PC のハードウェアのみならず導入するアプリ費用（Office365;オンライン会議など）、PC 保守費用、PC を安全に使うためのウィルス対策ソフト費用、初期設定費用がございます。

② 具体的な費用項目とご負担金額

費用項目	1 台あたり費用	政府補助	学校負担額
①PC ハードウェア及び 3 年の保守費用(*1、*2)	Rp12,703,044	Rp3,000,000	Rp9,703,044
②ソフトウェア（Anti Virus 等）年間使用料	Rp560,000	Rp0	Rp560,000
③アプリ（Office 365）年間使用料	Rp560,000	Rp0	Rp560,000
④ソフトウェア初期設定費用	Rp500,000	Rp0	Rp500,000

* 1 今回購入 45 台の総額 571,637,000Rp を台数で割って一台あたりの単価を計算

* 2 補助金額 22,500 円を申請時のレート(6/20)で Rp に換算

PC のライフサイクルを 3 年、4 年とした場合の月額費用の試算

	総額	月額	計算方法
3 年間の費用総額及び、その場合の月額費用	Rp13,563,044	Rp376,751	①+3×(②+③)+④
4 年間の費用総額及び、その場合の月額費用	Rp14,683,044	Rp305,897	①+4×(②+③)+④

ソフトウェア、アプリ年間使用料は将来変動する可能性があるが今年度費用で計算した。

③ 月額負担額について

PC のライフサイクルを 4 年（買い換えを 4 年後）として月額 300,000Rp をご負担願います。他の校納金と同様在籍期間のみのご負担と致します。なお、今後、児童生徒の増加に合わせて PC を買い増していきます。PC ハードウェア価格などは変動するため、正確に計算すると入学の時期によって月額が変動しますが、解り易くするため 4 年間固定と致します。

④ 徴収方法について

従来の施設利用料は学校内のインフラの維持管理費用としてご負担頂いています。今回はPC配布という目的を限定した費用になりますが、授業料・施設利用料と同様に在学期間分だけご負担頂くことから従来の校納金請求書に合わせて請求させて頂き、一度の振り込みで済むように致します。請求書の費用明細を分離するには請求書発行の情報システムを変更する必要があるため、施設利用料に合算して表記いたしますのでご承知おき下さい。

12月からPC利用を開始していますが、2020年度3学期分からご負担頂きたく、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本件については日本人学校理事会の承認を頂いておりますこと申し添えます。

以上